

平成30年2月26日

那珂市長 海野 徹 様

那珂市議会産業建設常任委員会
委員長 寺門 厚



下水道事業に対する要望書

市議会産業建設常任委員会では、『下水道事業』に関し、先進地視察等を通して調査、研究してきました。

那珂市の下水道事業においては、整備がかなり遅れており、その先行きも不透明です。また、整備の地域格差も今後の課題といえ、特に排水先が十分に確保されていない地域では様々な問題が出ています。

市下水道課が実施したアンケート結果からは、依然として公共下水道での整備を望む声も見受けられますが、人口減少の問題を鑑みると下水道事業の経営そのものが難しくなることも予想され、今後はより計画的かつ長期的な見通しが必要になるように思われます。

以上のことから、今後の下水道整備に当たっては、下記の点に重点を置き、迅速かつ適切に推進することを強く要望します。

記

- 1 早急に市としての方向性、計画を明確にし、市民に遺漏なく説明すること。
- 2 整備コスト、整備効率といった観点から、市町村設置型合併浄化槽など、公共下水道以外の手法も研究すること。
- 3 今回実施したアンケートを含めて現状把握を十分に行い、住民の理解を得ながら地域の実態に合った方法を検討すること。
- 4 排水先確保については雨水排水も含め、関係各課での課題共有及び連携をこれまで以上に強めて対策に努めること。